



ながしま ようこ
長嶋 陽子
(公明党)

防災、減災対策・市民サービス向上について

災害対応について

問 指定避難所のコロナ対策は。

答 職員及び避難所開設、運営に協力いただく区長に事前準備や運営に関する取り組みなどを周知しています。また、段ボールベッドや段ボール間仕切り、非接触型体温計などの備蓄を進めています。

問 災害に備える避難行動など、市民への再三の周知が必要だと思いが。

答 市ホームページやメール配信サービス、ツイッターを活用し、おさえておきたい避難行動及び自分ごとるべき避難行動を確認するフローチャートを掲載しています。今後は、お知らせ版及び広報紙に掲載するなどして、さらなる周知の強化に努めます。

竹粉碎機貸出し事業について

問 利用料の見直しの考えは。

答 利用者に、積み下ろし補助及び機械の消耗、切断刃調整等の



竹粉碎機

管理費として料金の負担をしていただいています。今後の利用状況や機材の消耗、維持管理費など必要経費を踏まえ、検討していきたいと考えています。

ゴミ出し支援について

問 高齢者や障がいのある方の、ゴミ出し困難な世帯が増えているが、市の対策は。

答 地域コミュニティを活用したゴミ出し代行など、多様化する市民ニーズに対応した取り組みを進めていきます。



やなぎさわ ひろゆき
柳 沢 浩之
(清風クラブ)

感染症対策について

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策について

問 新型コロナウイルス感染症に関する相談センターに寄せられた件数と内容、PCR検査を実施した件数と結果は。

答 市相談センターへの件数は23件で、内容は発熱や倦怠感、呼吸器系の症状などでした。帰国者・接触者相談センターへは576件で、内訳は、医師や市民企業の対応等です。PCR検査数は39人で、陽性者は3人です。

問 公立碓氷病院に発熱外来を開設した。受診患者の現状とその後の対応は。

答 5月末時点で、117件の相談があり、72人の患者を診察しました。新型コロナウイルス感染症の患者はいませんでした。

問 地域外来・検査センターの開設や公費での抗体検査の考えは。

答 第2波の流行に備えて、地域外来・検査センターの運営方法

やPCR検査の導入について検討していきます。抗体検査の実施は調査研究を進めていきます。

問 経済は疲弊している。経済活性化のため、市民への経済支援として独自の給付事業の考えは。

答 市独自の支援を検討します。

問 ICT環境の整備とオンライン学習の導入についての考えは。

答 災害時や感染症の緊急時でも、児童生徒の学びの充実を図るために、1人1台の端末機器の配備や通信環境の整備を進めます。



碓氷病院に設置された発熱外来

